

2014年12月期 第2四半期決算説明会



ヤマハ発動機株式会社
2014年8月5日

本日ご説明する内容

2014年12月期 第2四半期決算

■ **概要説明** 代表取締役社長 柳 弘之

■ **事業別説明** 取締役 篠崎 幸造

● **業績予想について**

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

概要説明

前年比、増収・増益を達成する。

- ◇ 売上高 : 7,560億円 (108%)
- ◇ 営業利益 : 491億円 (162%)
- ◇ 営業利益率 : 6.5% (+2.2 pt.)
- ◇ 経常利益 : 491億円 (161%)
- ◇ 当期純利益 : 322億円 (158%)

目標 結果概要

事業戦略の補強・見直し/ 計画前倒しに取り組む。

■ **増収：全事業部門における売上高増加**

■ **増益：増収効果＋収益性改善－開発費投入－為替影響**

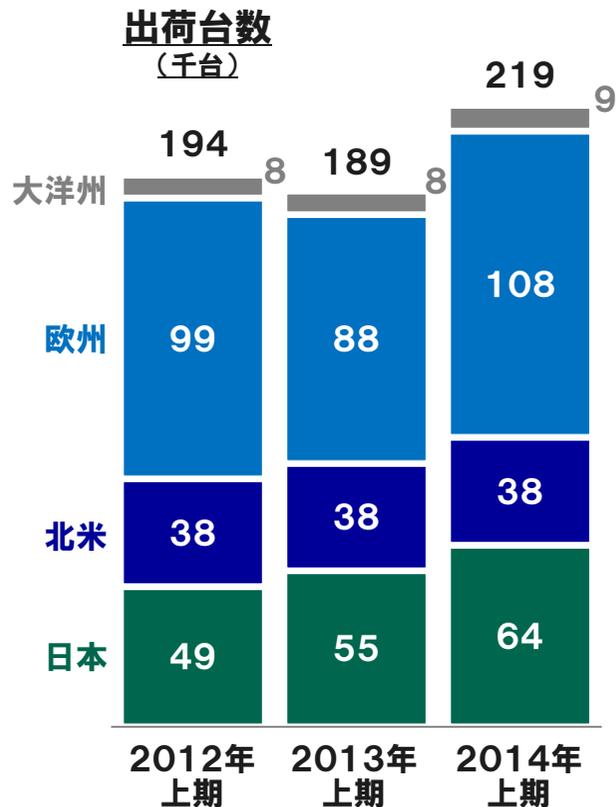
主な 取り組み 事項

- ① **各事業で、「個性ある新商品」の市場投入進む。**
 - ・中期商品計画（累計進捗60%）
- ② **戦略課題の取り組み進む（モノ創りが変わる）。**
 - ・グローバルモデル市場投入
 - ・次世代プラットフォームモデル市場投入
- ③ **構造改革課題の取り組み進む。**
 - ・国内生産体制、欧州事業体制の合理化
 - ・中期コストダウンの推進
- ④ **新興国通貨安への対応に取り組む。**
 - ・特に、インドネシア・ブラジル等

- ベトナム・タイを除く各市場で、出荷台数増加続く。
- 年間予想：総数617万台・前年比+16万台（当初予想比 △40万台）

（千台）	上期実績				年間予想	
	総需要		当社出荷		当社出荷	
	実績	伸長率	実績	伸長率	予想	伸長率
先進国	1,387	104%	219	116%	430	117%
インドネシア	4,202	107%	1,330	104%	2,600	104%
ベトナム	1,284	90%	291	72%	700	91%
タイ	873	80%	98	46%	205	59%
インド	7,837	113%	260	128%	574	124%
ブラジル	717	96%	90	116%	215	120%
中国	5,160	90%	212	96%	504	108%
その他	-	-	446	107%	941	101%
合計	-	-	2,946	98%	6,170	103%

- 総需要の回復傾向続く。
- スポーツ領域（MTシリーズ）効果等で、市場シェア改善する。



主な取り組み

- ◇ 「個性ある新商品」の市場投入継続
- ◇ 各商品シリーズにおけるラインアップ確立
⇒ブランドを輝かせる



MT-09



MT-07

- **インドネシア**：総需要堅調続き、当社出荷は安定的増加。
- **ベトナム・タイ**：総需要減少・商品力不足により、当社出荷は減少。

出荷台数

(万台)

218



主な取り組み

- ◇ **総合戦略**：Rev Station キャンペーン展開、グローバル/次世代プラットフォームモデル投入
- ◇ **インドネシア**：スポーツ領域の重点的強化
- ◇ **ベトナム・タイ**：新商品投入、販売網立て直し

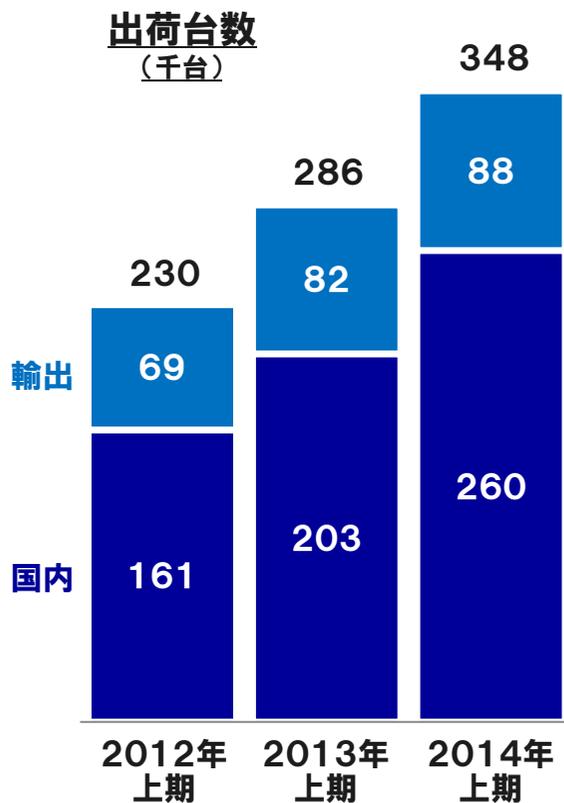


R15



Nozza Grande

- 総需要の増加傾向続く。
- 当社出荷は、新商品効果により大幅増加。国内128% 輸出106%



主な取り組み

- ◇ デラックス領域：新商品投入⇒領域強化する
- ◇ スクーター領域：ファミリー向けマーケティング
- ◇ 新工場建設・稼動準備（年末予定）



FZ-S



CYGNUS α

グローバルモデル



TRICITY
第3の移動体
タイからグローバル市場へ

次世代プラットフォーム

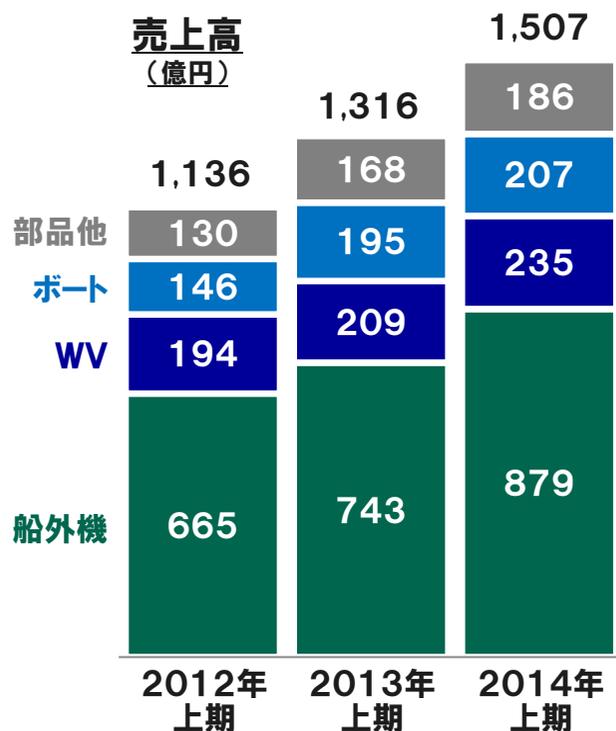


Blue Core
次世代エンジンコンセプト
『低燃費＋走りの楽しさ』



R25
エントリー・スポーツ
インドネシアからグローバル市場へ

- 船外機：新商品投入（115HP）、米国で大型モデル比率増加。
- ボート：新商品投入、特に米国で生産・販売増加。
- WV：商品競争力強化（モデル刷新）進む。



主な取り組み

- ◇ 船外機事業：タイ生産開始（8月）
- ◇ ボート事業：世界生産戦略の展開
 - ・日本： 1,100隻
 - ・米国： 11,000隻
 - ・中国： 生産開始予定（2015年）

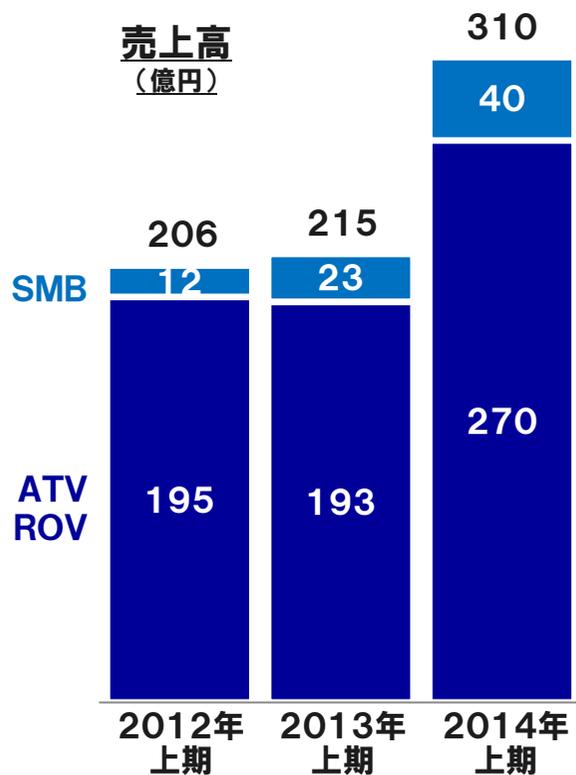


DFR



242 Limited S

- ROV: 第2弾モデル投入 (7月)。上期の当社出荷は、6千台。
- SMB: 他社OEM・バリエーションモデル投入。



主な取り組み

- ◇ ROV: 新商品開発・ラインアップ拡充
⇒販売店内/ 市場シェアの獲得
- ◇ SMB: 他社OEM・ラインアップ拡充

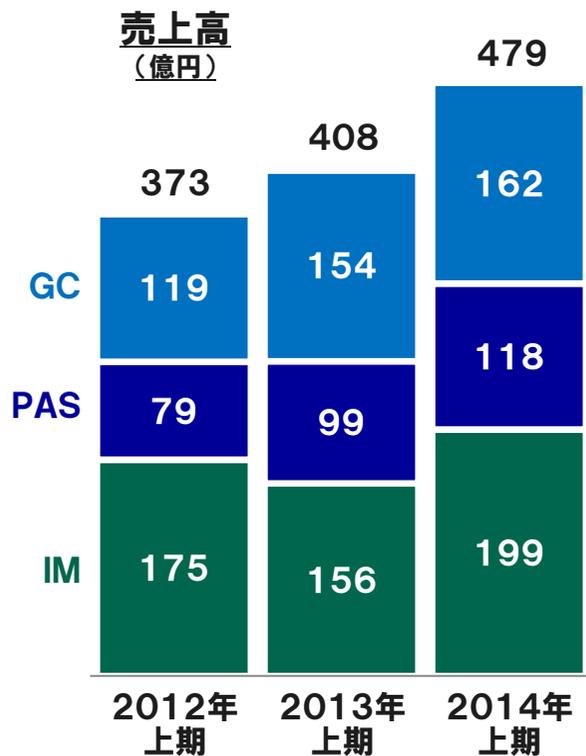


VIKING



VIKING VI

- IM: 市場回復傾向・新商品投入効果による販売増加。
- PAS: 国内・欧州向け販売増加（合計16万台・135%）。
- GC: 米国ガス車・シェア増加、国内販売増加。



主な取り組み

- ◇ IM: 欧・米・中国体制強化⇒顧客先拡大
- ◇ PAS: 顧客ターゲット拡大、
世界最小・最軽量ユニット開発
- ◇ GC: 業務 / 個人市場での販売拡大



Z:LEX YSM20



PAS VIENTA 5

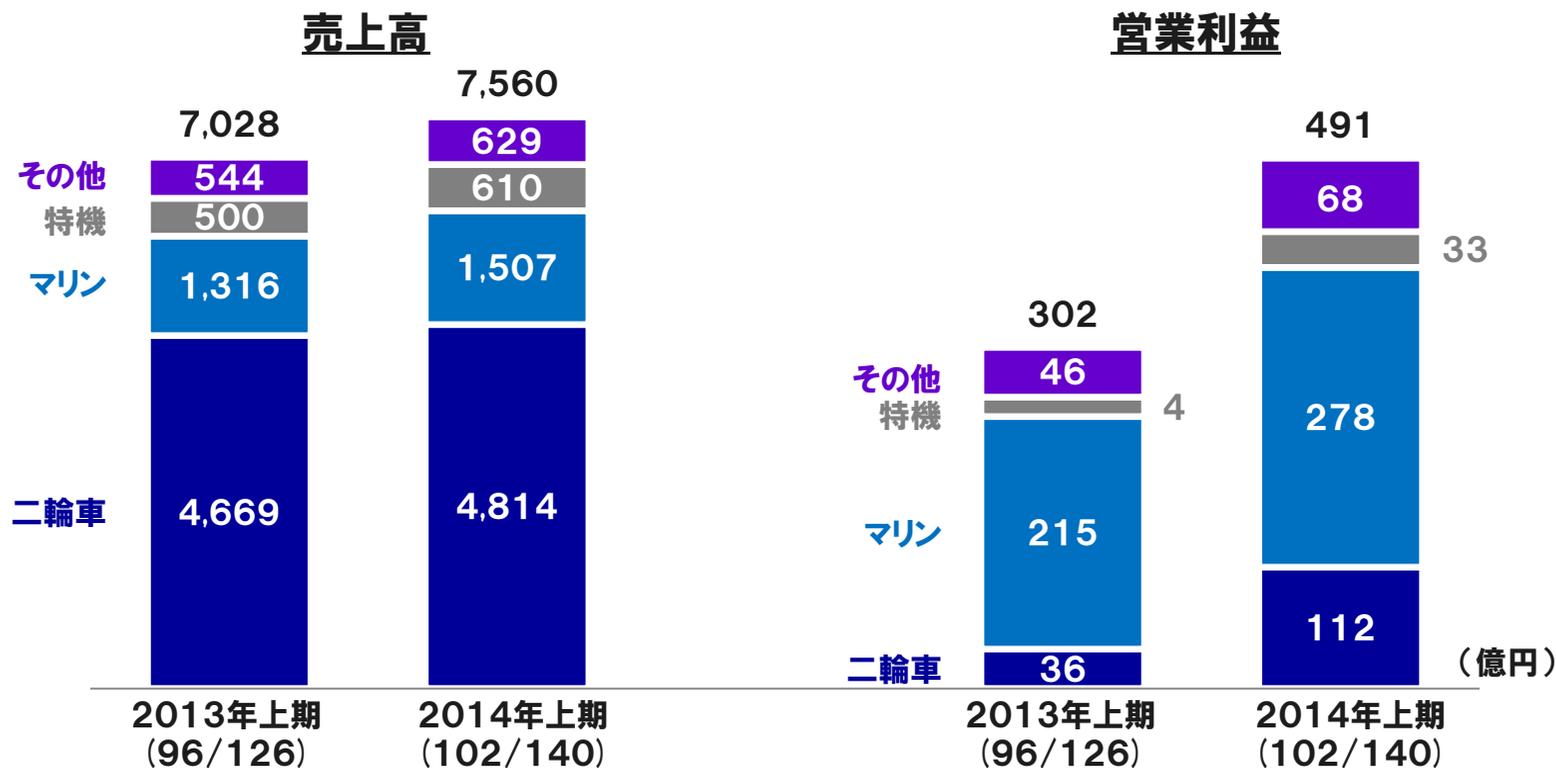
- 年間予想：中期営業利益目標（2015年：800億円）を前倒し見込み。
- 配当：年間予想29円（中間実施14.5円）。今後、株主優待制度を実施。

（億円）	2013年 実績	2014年 修正予想	2014年 当初予想
売上高	14,105	15,000	15,000
営業利益	551	830	750
営業利益率	3.9%	5.5%	5.0%
経常利益	601	850	770
当期純利益	441	500	450
為替レート （\$/€）	98円/130円	101円/138円 <small>（下期）：\$100円/€135円</small>	100円/135円
配当金	26円	29円	26円

事業別説明

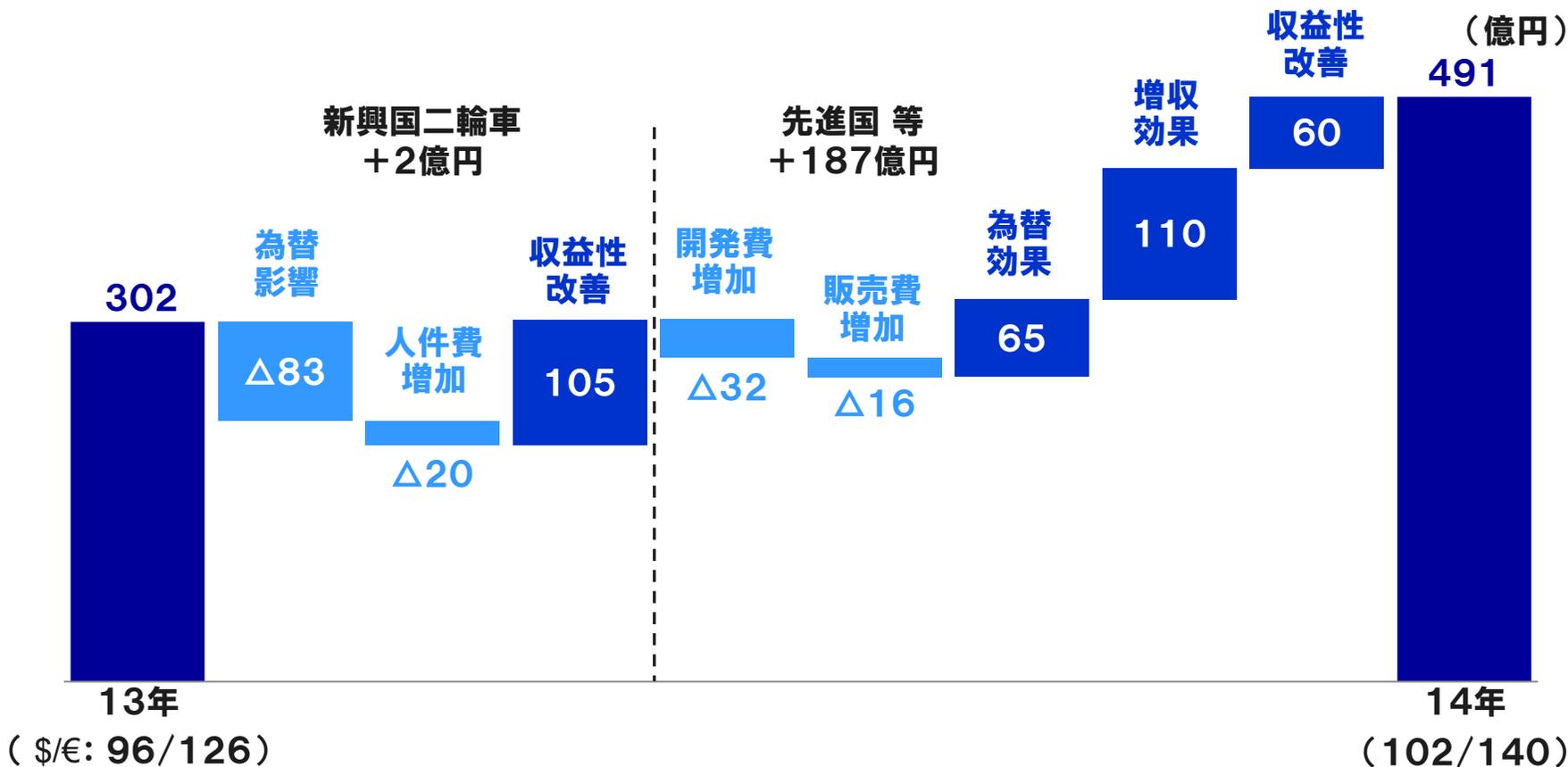
事業別 売上高・営業利益（上期）

- 二輪車： 先進国において、新商品投入効果・収益性改善による増益。
- マリン： 北米販売増加、大型モデルの販売比率上昇による収益性向上。
- 特機・その他： VIKING投入効果、IM・PAS販売増加による増益。



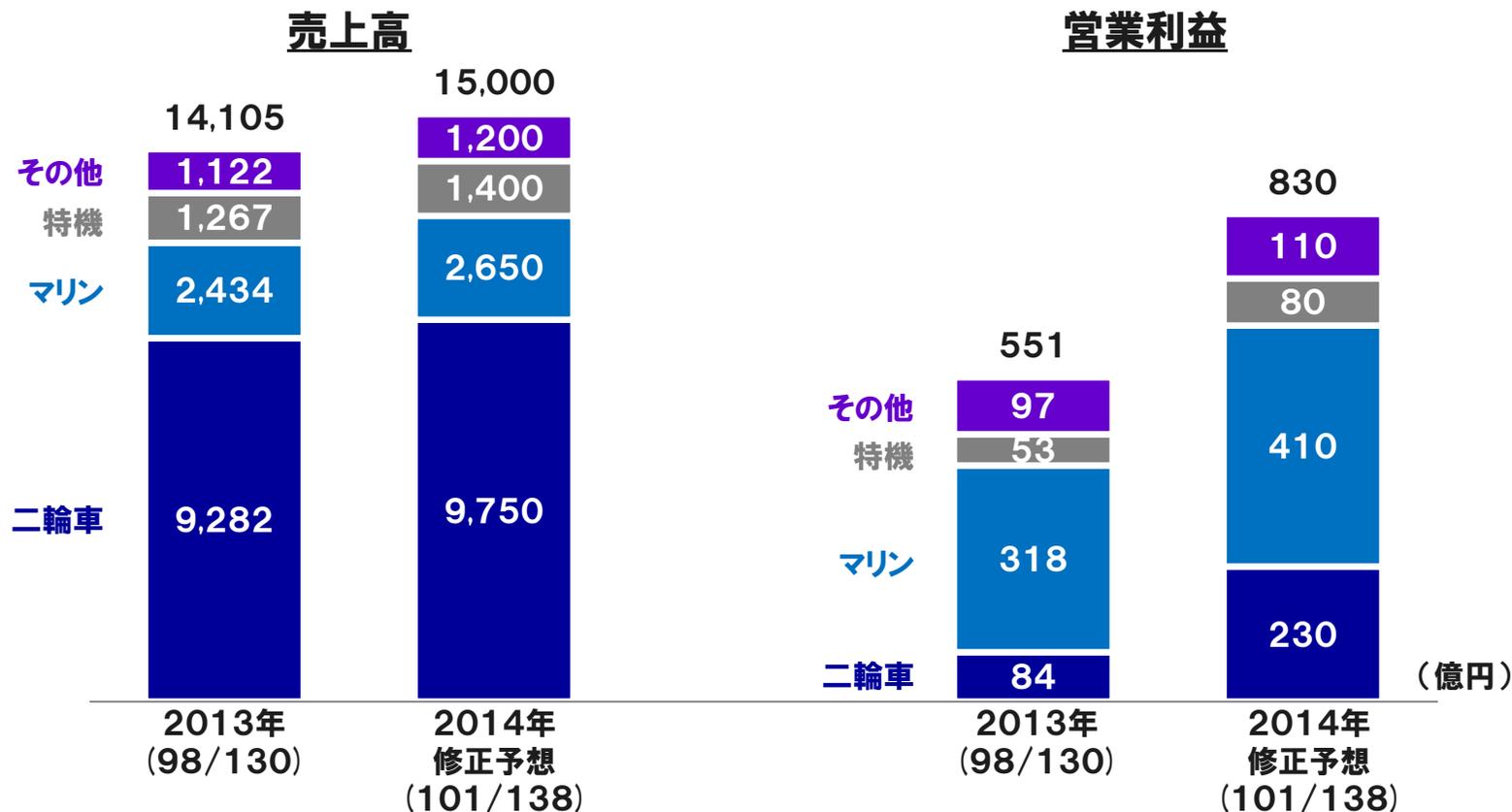
営業利益変動要因（上期）

- 新興国二輪車：CD・ミックス改善 > 現地通貨安による調達コスト増加等
- 先進国等：増収効果・収益性改善 > 積極的な開発費・販売費投入



事業別 売上高・営業利益（年間予想）

- 全事業部門において、増収・増益見込み。
- 中期営業利益目標（2015年：800億円）を前倒し見込み。





YAMAHA

Revs Your Heart

主要商品別 総需要・当社出荷台数



台数単位:千台

	総需要(当社推定)		
	12年実績	13年実績	14年予想
日本	442	460	476
北米	502	520	548
欧州	1,744	1,649	1,610
インドネシア	7,064	7,744	7,800
タイ	2,129	2,004	1,692
インド	13,806	14,343	15,248
ベトナム	3,109	2,793	2,550
台湾	628	668	678
中国	12,630	11,627	10,605
その他	4,537	4,365	4,393
アジア計	43,903	43,544	42,966
ブラジル	1,654	1,515	1,480
その他	7,244	7,989	8,510
その他計	8,897	9,504	9,991
二輪車計	55,490	55,678	55,591
船外機	759	781	802
ATV	516	523	490
電動アシスト自転車(日本)	386	435	493

	ヤマハ発動機 出荷台数		
	12年実績	13年実績	14年予想
日本	94	109	127
北米	71	76	83
欧州	165	162	200
インドネシア	2,423	2,492	2,600
タイ	550	348	205
インド	348	462	574
ベトナム	922	766	700
台湾	179	189	221
中国	492	465	504
その他	313	355	352
アジア計	5,228	5,077	5,156
ブラジル	164	179	215
その他	369	411	389
その他計	533	590	604
二輪車計	6,090	6,014	6,170
船外機	322	313	322
ATV	70	55	50
PAS(完成車)	104	131	156

事業別売上高・営業利益

売上高 (億円)

	上期		年間	
	13年実績	14年実績	13年実績	14年予想
二輪車	4,669	4,814	9,282	9,750
マリン	1,316	1,507	2,434	2,650
特機	500	610	1,267	1,400
その他	544	629	1,122	1,200
合計	7,028	7,560	14,105	15,000

営業利益 (億円)

二輪車	36	112	84	230
マリン	215	278	318	410
特機	4	33	53	80
その他	46	68	97	110
合計	302	491	551	830

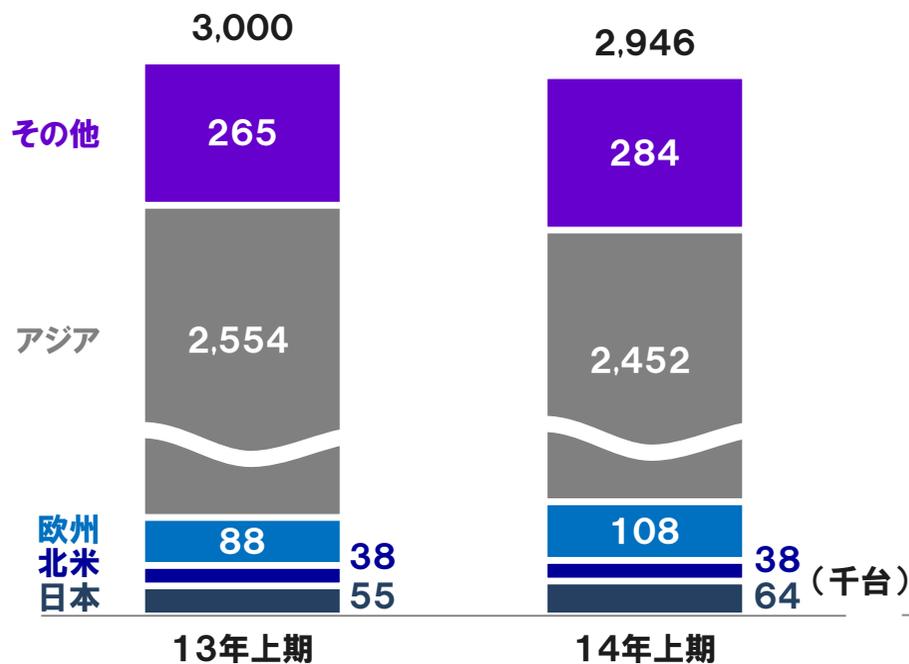
営業利益率 (%)

二輪車	0.8	2.3	0.9	2.4
マリン	16.4	18.4	13.1	15.5
特機	0.9	5.4	4.2	5.7
その他	8.5	10.8	8.7	9.2
合計	4.3	6.5	3.9	5.5

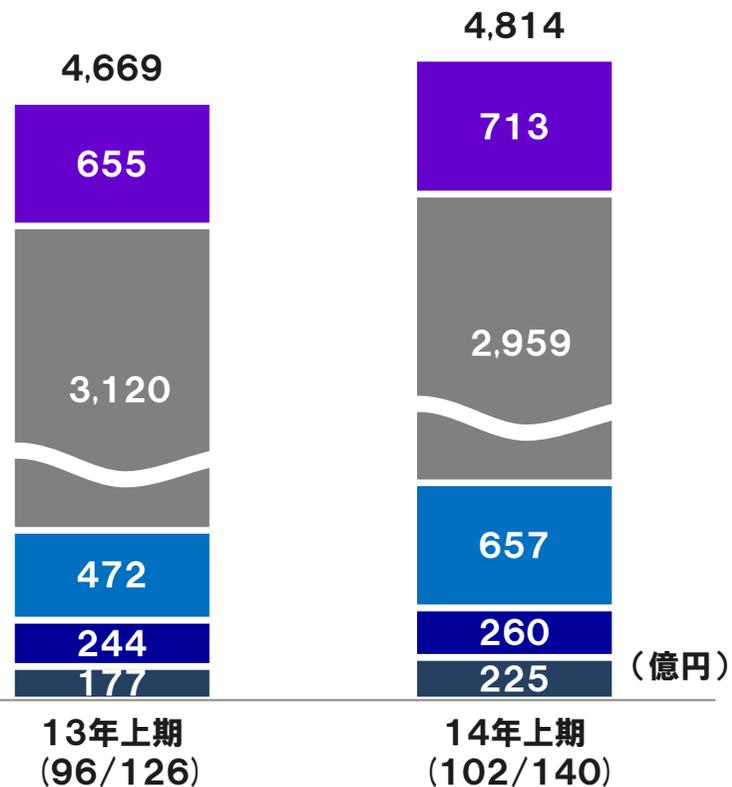
二輪車販売台数・売上高（上期）



出荷台数



売上高

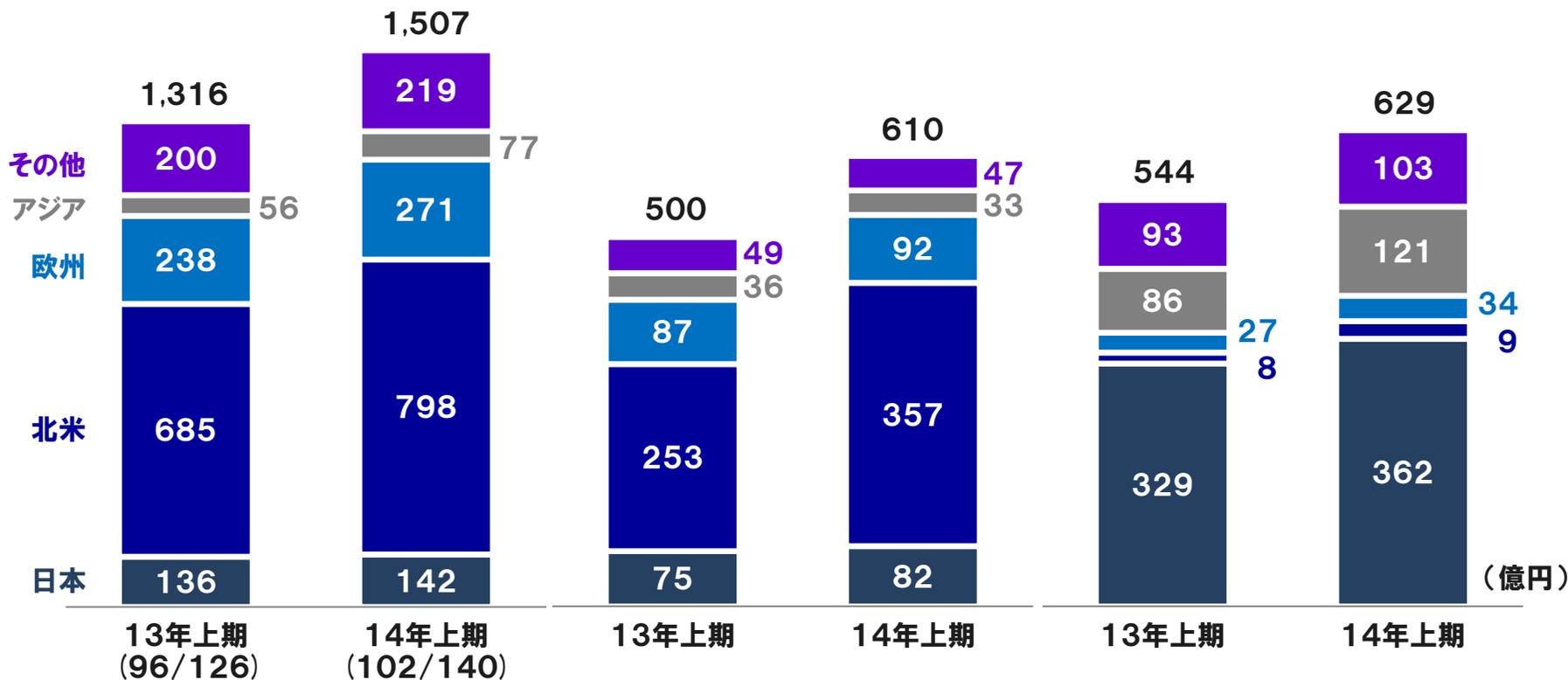


マリン・特機・その他 売上高（上期）

マリン

特機

その他

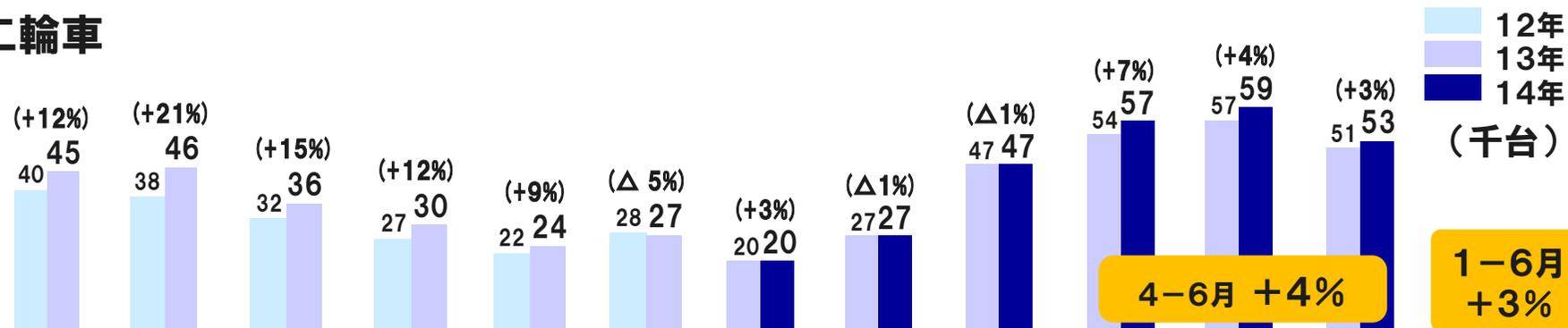


※ その他：産業用機械・ロボット含む

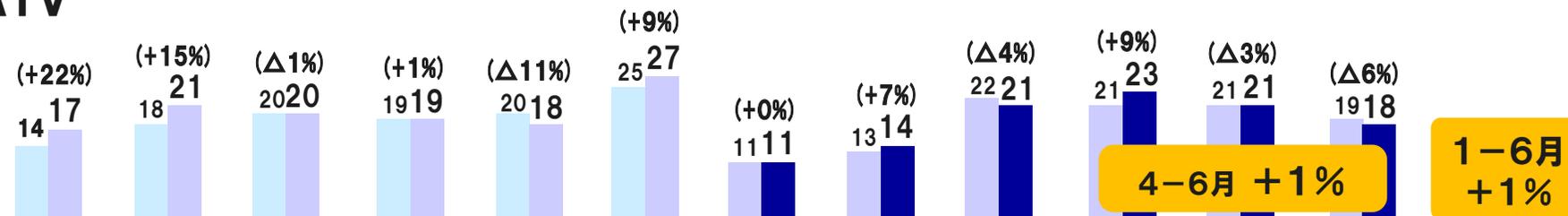
米国主要商品 月別 総需要推移



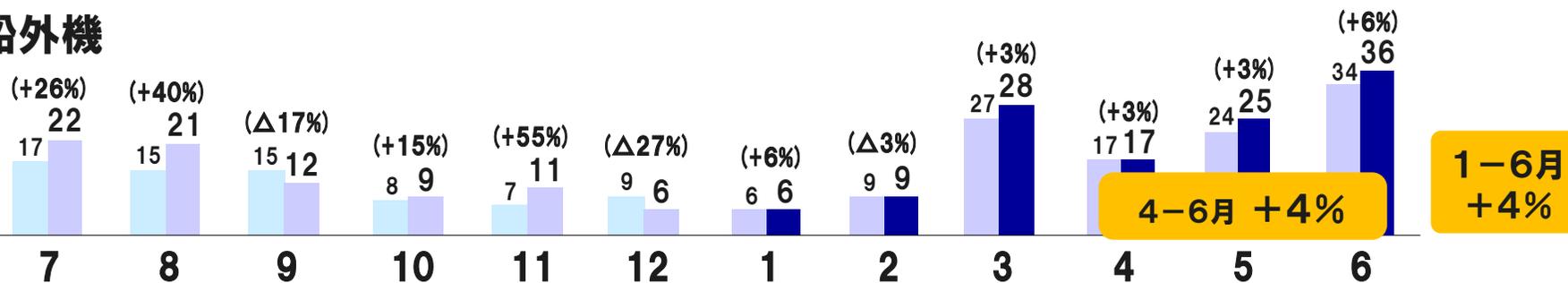
二輪車



ATV



船外機



出所) 二輪車・ATV: MIC、船外機: NMMA (登録台数)

為替影響（対前年）

	14年（年間予想）			
	US\$	EURO	その他	合計
（億円）				
本社の輸出入にかかる為替影響	48	26	0	74
為替による仕入影響 （海外子会社）	0	0	△99	△99
粗利益の換算影響 （海外子会社）	20	19	△14	25
販管費の換算影響 （海外子会社）	△13	△16	13	△17
営業利益への為替影響	54	29	△99	△16

為替感応度

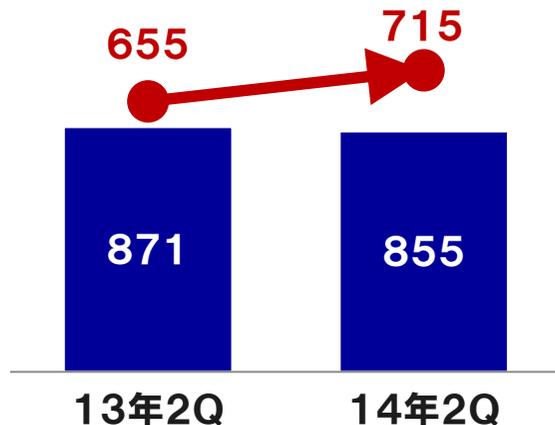
1円の変動が営業利益に与える影響

US\$
14億円

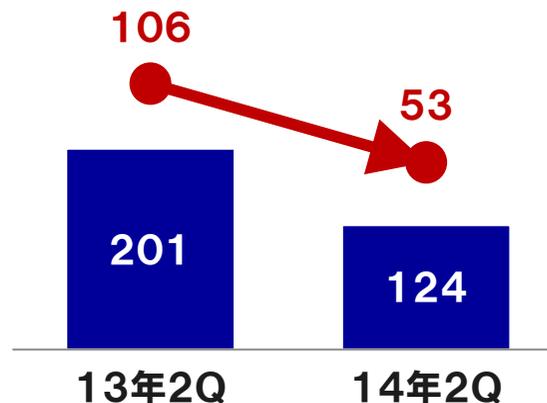
EURO
4億円

アジア主要国 販売状況（2Q）

インドネシア（YIMM）



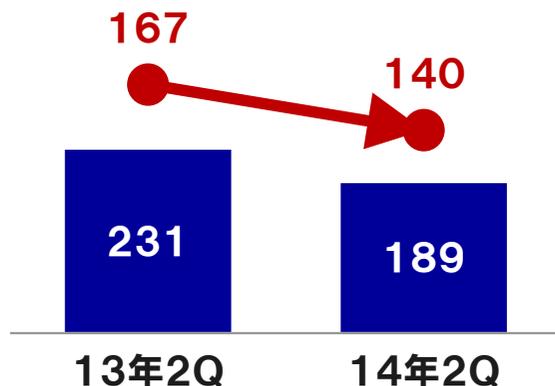
タイ（TYM）



出荷台数
(千台)

売上高
(億円)

ベトナム（YMVN）



インド（IYM）



アジア主要国 販売状況（上期）

インドネシア（YIMM）



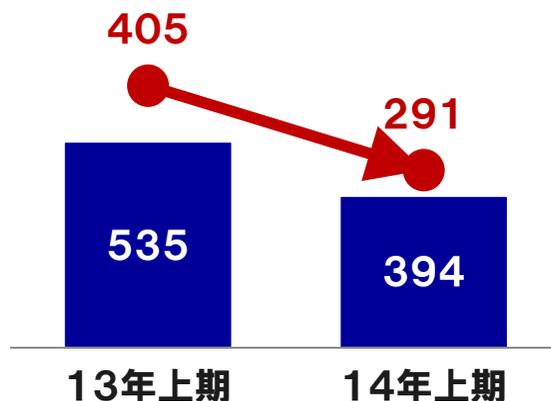
タイ（TYM）



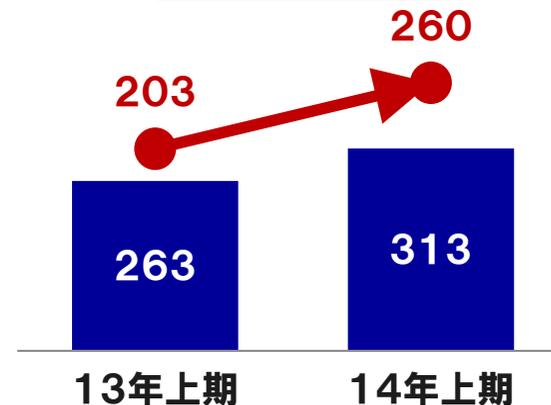
出荷台数
(千台)

売上高
(億円)

ベトナム（YMVN）

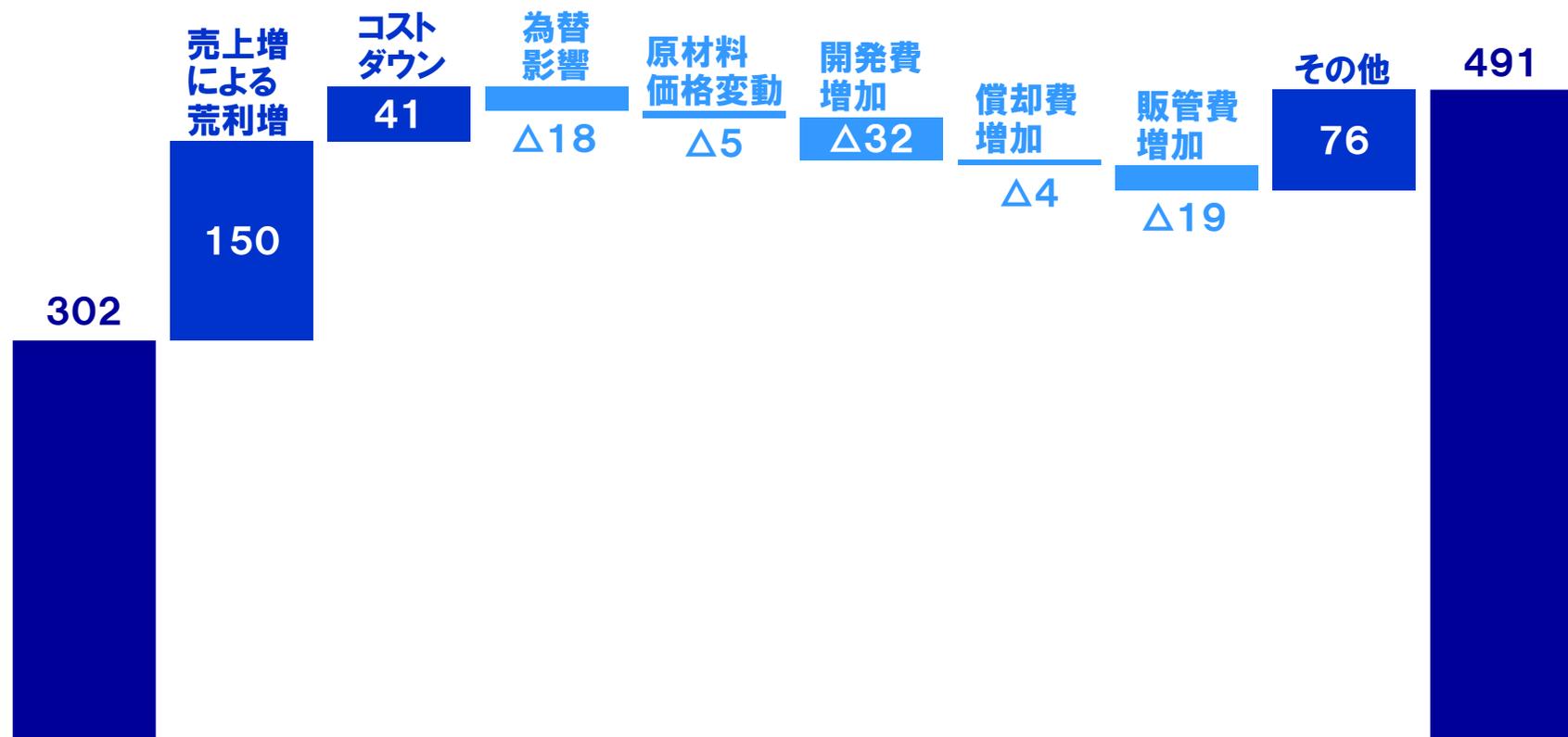


インド（IYM）



営業利益変動要因（上期）

（億円）



13年

(\$/€: 96/126)

14年

(102/140)

営業利益変動要因（年間予想）

